

学校発!

中学生海外派遣報告

異文化に学び、友好を深めたアメリカ訪問

田原市の友好都市である米国インディアナ州プリンスストン市およびギブソン郡を、市内の中学生10名と引率の先生3名が訪問しました。9月24日(月)～10月1日(月)の8日間、ホームステイや学校での授業などを体験し、交流を深めてきた様子を紹介します。



●プリンストン市長(写真:前列右から二人目)と一緒に友好の記念写真



●現地の校長先生と友好を深めた引率の先生



●ホストファミリーと顔合わせ

アメリカでの学校生活を体験

プリンスストン市役所でホストファミリーと顔合わせを行い、笑顔と緊張の中、ホームステイが始まりました。

生徒たちは、2日目からギブソン・サザン・ハイスクールとプリンスストン・コミュニティ・ハイスクールに分かれ授業を体験しました。両校とも大きな学校で、校内には劇場やジム、農場がありました。また、田原市との友好を紹介したコーナーが廊下の一角にあり、生徒たちは感激していました。ホストファミリーの生徒と同じクラスで授業を受けた際には、どのクラスでも大歓迎され、すぐに打ち解けていました。

引率の先生は校長室を訪問し、校長先生と友好を深めながら、交流の大切さについて話し合いました。

交流を深め異文化に触れる

4日目には、プリンスストン市長を訪問し、市内の見学を行いました。

プリンスストン市長に、田原市教育委員会教育長からの親書とお土産を団長が渡し、プリンスストン市長からは歓迎の言葉をいただきました。

その後は、プリンスストン市の消防署やラジオ局、トヨタ自動車(株)インディアナ工場を訪問しました。この工場は、最新の設備を備えており、田原市からの出向者も多いことに生徒たちは驚いていました。

5日間のホームステイを終えた生徒たちの顔は輝き、多くのことを体験し、学ぶことができました。

派遣団長の感想

太田孝雄(赤羽根中学校校長)

ホストファミリーの方々には温かく生徒たちを迎えていただき、全員ホームシックにならずに健康で楽しくアメリカ生活を体験することができました。この中学生海外派遣は、友好関係やボランティア精神によって支えられていることを強く実感しました。



▼学校教育課 ☎ 23局3679



●デトロイトタイガースの本拠地



●はた織り機の使い方を体験



●クラスメイトと記念撮影